

支笏湖ビジターセンター便り



2020年（令和2年）1月号 Vol.121



一、荒波が作る「しぶき氷」



冬の荒波が打ちつける湖岸には水のオブジェができます。

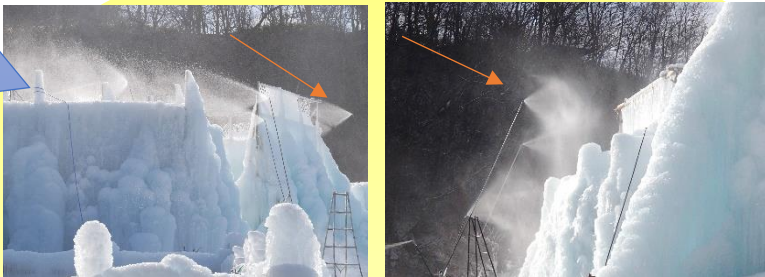
強風で飛び散った波しぶきが湖岸の木などについて大きなツララになったのが「しぶき氷」です。

湖水を
汲み上げて…



冬の見どころ、二つの氷

スプリンクラーの角度を変えて湖水を吹き付ける！



氷濤まつり・制作スタッフ達の

二、知恵と技術で作上げる「氷像」

毎年厳冬の支笏湖畔に見事な氷像群が現れます。この氷像群を、見て、そして触れて楽しむのが「氷濤まつり」です。氷は支笏湖そのもの。透明度の高い水で作られ、氷は陽の光を受けて青い輝きを放ちます。その天然色は、名付けて「支笏湖ブルー！！」氷濤まつり会場でご覧ください！

気温をみて、風を読んで湖水を吹き付ける！



気温が高めだと吹き付けた湖水が氷像を溶かしてしまう
気温が低すぎると吹き付けた湖水が空中で凍ってしまう
毎年、熟練の技を駆使して氷像が造られています。

第42回 2020千歳・支笏湖水濤まつり

1月24日～2月16日

氷の滑り台、苔の洞門をイメージしたトンネルなど
大小約30基の氷像が立ち並びます

王子軽便鉄道ミュージアム

えき

山線湖畔驛

1月25日（土）オープン

支笏湖には昔、苫小牧から「王子軽便鉄道」が敷設されていました。支笏湖と苫小牧を結ぶその軌道は、「山線（やません）」と呼ばれ親しまれていました。

支笏湖の発展の礎になったその山線の歴史をジオラマと映像で紹介する施設がオープンします。



ビジターセンターに併設していた
パークハウスを改修してオープン

News

平成30年度水質調査 結果発表 支笏湖全国2位

環境省の平成30年度公共用水域水質測定結果において、支笏湖の水質は湖沼部門で2位を獲得しました。前回までは11年連続1位でした。が、今回は化学的酸素要求量（COD）の値を0.6から0.5 mg/Lに下げた田沢湖に軍配が上がりました。支笏湖は前回と同じ値0.6 mg/Lで変わっていません。

2位にはなりませんが、支笏湖の水質が良いことは変わらず、全国トップレベルです。

1月25日（土）10時からオープニングセレモニーが開催されます。支笏湖小学校の児童たちによる「山線鉄橋のうた」の披露やテープカットが行われます。

支笏湖温泉の気象

支笏湖温泉の
気象・降水量・日照時間
～気象庁アメダスによる平年値
と今年の観測～

日照時間(h)

	平年値	今年
12月上旬	23.8	27
中旬	25.4	24.4
下旬	28.8	27.6
1月上旬	27	40.9

気温(°C)

	平年値	今年
12月上旬	-0.8	-2
中旬	-3	-0.2
下旬	-3.3	-4.3
1月上旬	-4.2	-4.4

降水量(mm)

	平年値	今年
12月上旬	31.9	50.5
中旬	26.8	16
下旬	35	8
1月上旬	36	4.5

12月は寒暖の差が大きく、下旬に冷え込みましたが月平均気温-2.2度はほぼ平年並みでした。降水量は月上旬が多かったですが、中・下旬は極端に少なく、降雪量も少なく2020年1月1日の積雪は0cmと、詳しい記録はありませんが40年数年ぶりといわれています。

2019年の年間値は、平均気温が7.4度、降水量合計が1462.5mm、日照時間合計が1663.6時間。観測開始以来、気温は高い方から、降水量は少ない方から、日照時間は多い方からいずれも3番目でした。

1月12日・18日の自然ふれあい行事「ファミリースノーシュー」は雪不足のためスノーシューが使えず中止になってしまいました。楽しみにしていた方には申し訳なく思います。

2月16日・22日には初心者参加、大歓迎の「スノーシューウォーク」を行いますので是非来てください!!
(10:00~12:00、参加費・スノーシューレンタル無料)



←雪がない! 1月5日の園地の様子です。

～多目的展示室から～ 支笏湖小学校 児童作品展

ビジターセンター近くには、全校生徒7人の支笏湖小学校があります。自然豊かな環境の中で、地域の特色を生かした学習をしています。野鳥学習、ヒメマス学習の様子も展示物からうかがえます。子どもたちが生き生きと学んでいる姿が目につかぶようです。じっくりご覧ください。



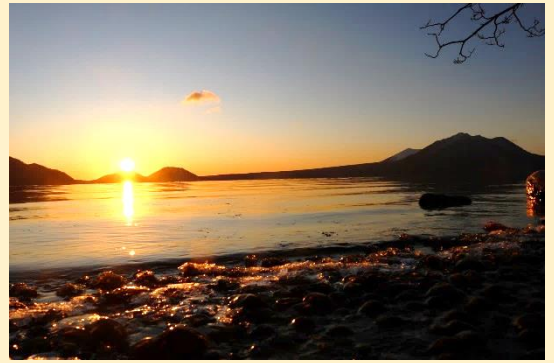
ビジターセンターHPも
ぜひご覧ください!

ボランティア活動をわかりやすく!!

支笏湖地区パークボランティア(PV)が発行する「PV通信」がビジターセンターHPから見られるようになりました!

アクティブ・レンジャー日記

支笏湖の朝日♪



支笏洞爺国立公園管理事務所
アクティブ・レンジャー(自然保護官補佐)
當山 真貴子

みなさん、新年あけましておめでとうございます。先日、早起きをして、ポロピナイの湖畔で朝日の写真を撮りに行きました。日が昇る前は寒さが厳しかったのですが、中モラップ方面から太陽が顔を出し始めると、一気に暖かくなり、太陽の偉大さを実感。木の枝や岩に付着した氷が日の光にキラキラと照らされて、このまま時間が止まれば良いのと思いました(^_^)ずっと眺めていたい新たな支笏湖を発見した1月上旬。今年も宜しくお願いします!

～展示物の紹介～ ビジターへおいでよ!

今年は夏のオリンピックイヤーですね。

48年前の1972年、アジア初の冬季オリンピックが札幌で開催されました。大倉山や宮の森、手稲山がスキー競技の舞台となりましたが、唯一滑降だけは札幌市内に十分な標高差をもった適地がなかったため、恵庭岳の西斜面にコースが造成されました。

ビジターセンターにはX字に切り開かれたコースの写真が展示されています。このコースは支笏洞爺国立公園内に位置しており、大会終了後には原状回復することという条件付きで作られたもの。施設撤去後に植林されたため、現在は残っていません。

ちなみに、展示には斜面を滑り降りる選手の写真もあるのですが、スイス人の観光客から自国の選手だと教えてもらいました。調べると男子滑降で金メダルを獲得したベルンハルト・ルッシー選手のような。遠き支笏湖の地で母国の英雄がひっそり載っていることにこの方も驚いたことでしょう。